

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

CONGRATULATION!

体育会フェンシング部1期生(経営学部2005年度卒)の中山セイラ選手が、今年開催されるロンドンオリンピックのフェンシング競技女子サーブル個人に出場することが決定しました。



ENTRANCE CEREMONY



厳粛に入学式を挙行

2012年度入学式が穂積キャンパス内大ホールで挙行された。式典では、学部・大学院・留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生667名が、大友克之学長並びに藤田厚専門学校長からの「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせた。

大友学長から「入学された皆さん、本学の建学の精神に立脚し、これから的人生において自分自身が社会にどのように参画していくかを在学中にしっかりとと考え、日々研鑽を積み国際性を身につけ、強い自信と誇りが持てるようにしていただきたい」との告辞があった。

理事長から祝辞

続いて挨拶に立った宮田侑理事長からは、「これから的学生生活では、第一に、自らのマーケットバリューを高めるよう努力してください。第二に、日々自らにモデ



宮田侑理事長から激励の言葉が述べられる
第三に、他流試合に通用する人材となってください。第四に、常に創意と工夫、誠実さをもって全てのことにあたってください」と新入生へ激励の言葉(祝辞)が述べられた。



大友克之学長による入学許可

これに対し、入学生を代表し、福元聰美(ビジネス企画学科:県立岐阜商業高校出身)さんから、「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われた。

春のオープンキャンパス

法学部・経営学部を対象とした「オープンキャンパス」が開催された。本学への進学を志す高校生たちは、穂積キャンパス6号館講義室において法学部や経営学部の概要説明を受けると共に大学案内用DVDで本学の魅力を視聴した。

キャンパスライフを満喫

また、高校生たちは「社会で役立つ学問“法学、経営学”でどんなこと



「就職支援の特長」を聞く高校生たち

国際色豊かな式典

今年は、県内外関係機関より

明海大学 学長

安井 利一様

アラバマ大学バーミングハム校歯学部

ティモシー・ジェイ・ヘブン 准教授様

瑞穂市 市長

堀 孝正様

(財)岐阜県体育協会 専務理事

柴田 益孝様

岐阜県高等学校商業校長会 会長

岐阜県立岐阜商業高等学校 校長

服部 哲明様

岐阜県歯科医師会 会長、副会長

高木 幹正様

横森 俊雄様

岐阜県弁護士会 副会長

所 寿弥様

(社)岐阜県商工会議所連合会 専務理事

山田 英治様

(社)岐阜県経済同友会 専務理事

長繩 隆様

(社)岐阜県経営者協会 事務局長

佐藤 彰様

NPO法人岐阜県歯科衛生士会 会長

土井 美由紀様

岐阜県立岐阜城北高等学校 校長

織田 龍美先生

岐阜県立益田清風高等学校 前校長

加藤 佳道先生

岐阜県立岐阜商業高等学校 商業科主任

田中 英淳先生

中国(北京)平成日本語培训学校 校長

郝 志強先生

これらの来賓を迎えると共に、本学の建学の精神を反映し、海外交流校であるアラバマ大学バーミングハム校より歯学部教員2名と学生10名が参列。英語による祝辞が述べられ、国際色豊かな式典となった。



祝辞を述べるアラバマ大学バーミングハム校歯学部のティモシー・ジェイ・ヘブン准教授

ウェルカムパフォーマンス



体育会によるウェルカムパフォーマンス

また、式典終了後には、一転趣向を変えて体育会メンバー や各学部・専門学校の在学生による「ウェルカムパフォーマンス」を披露。公式戦用ユニフォームに身を包んだ先輩たちから熱いメッセージが送られ、式場の興奮は頂点に達した。



が学べるのか」のミニ講義、ロンドンオリンピック「フェンシング競技」への出場が決まった卒業生の中山セイラ選手(大垣共立銀行勤務)を題材にした大学生活の過ごし方などを楽しく受講した。その後、学生食堂「花水木」でランチバイキングや本学在学生らとの歓談を楽しみ、参加者たちは朝日大学で「1日大学生」を大いに満喫していた。

メキシコ州立自治大学を訪問

「宮田慶三郎リサーチセンター」開設26周年記念式典がメキシコ州立自治大学で挙行され、宮田侑理事長、倉知正和副学長が招待を受け、安井利一明海大学学長と共に出席した。記念式典では、宮田理事長にEduardo Gasca Pliego学長から名誉博士号が授与された。

1986年にリサーチセンター開設

メキシコ州立自治大学との交流は、本学創立者である宮田慶三郎前理事長が、1986年に歯科医学教育の発展に寄与することで同大学に「宮田慶三郎リサーチセンター」を設立したことから始まる。1993年の「姉妹校協定締結」以来、宮田侑理事長の強いリーダーシップのもと学生相互短期研修、教員の交流や客員教員の受け入れなど積極的な交流が行われている。



宮田侑理事長らがメキシコ州立自治大学を訪問

海外の歯学部学生受け入れ

本学と交流協定を結んでいるアラバマ大学バーミングハム校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、テキサス大学サンアントニオ校の教員と学生たちが本学歯学部での海外研修のため相次いで来日した。

来日した歯学部学生たちは、藤原周国際交流委員長をはじめ歯学部教員から、日本における歯学教育の現状や日本文化に関する講義を受けた。



穂積キャンパス正面玄関での記念撮影

生たちは、大友克之学長、田村歯学部長から「修了証書」を一人ひとり受領。その後のパーティーでは、本学から海外研修に参加した学生や関係教職員との交流を深めていた。

活発な意見・情報交換

その後一行は、穂積キャンパス内附属病院で日本の歯科医療の現場を見学、アメリカにおける医療システムや機器の違いなどについて活発な意見・情報交換を行った。

研修後の修了式で

生たちは、大友克之学長、田村歯学部長から「修了証書」を一人ひとり受領。その後のパーティーでは、本学から海外研修に参加した学生や関係教職員との交流を深めていた。

HOT
TOPICS

新入生研修を実施

4月のオリエンテーションの一環として実施され、毎年恒例の行事となっている「新入生研修」が、それぞれの学部で実施された。

チームワークを深める

経営学部は、今秋の国体ボウリング競技会場となる瑞穂市内の岐阜グランドボウルでグループに分かれボウリングを楽しみ、新しい仲間づくりや教員との信頼関係を築くと共に、ボウリングを通じてチームワークの大切さを学んだ。



ボウリングでチームワークを学ぶ

寝食を共にする

また、歯学部ではF1レースも開催される鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)において1泊2日の宿泊研修を行った。歯科医師をめざす学生の心構えを学び、グループ研修を通じて新しい友達、教員との交流を深めた。



歯科医師をめざす学生の心構えを学ぶ

講演と活動報告

一方、法学部では、穂積キャンパス内で新入生研修が行われた。法学部学生の活動報告(防犯ボランティア「めぐる」、劇団あさひ、朝日大“法”送局)や岐阜県弁護士会の武藤玲央奈弁護士からの「弁護士としてのやりがい」と題した講演を聴講。その後の懇談会では、笑顔で談笑する場面も見られ、指導教員と新入生とのうち解けた様子がうかがえた。



武藤玲央奈弁護士が講演

OPEN CAMPUS 2012

法学部・経営学部 スポーツと就職に強い秘密を公開

7月28日(土)・8月3日(金)・8月18日(土)・9月8日(土)
10:00~15:00(全日程共通)

スポーツ活動、就職支援、会計学教育、充実の独自奨学金制度を詳しく説明します。キャンパス見学や法学部・経営学部の授業も体験できます。

フレンチシェフによるランチバイキングも大好評。皆さんの参加をお待ちしています。

お問い合わせ／朝日大学 入試広報室 フリーダイヤル 0120-058-327 E-mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp

歯学部

歯学部に一日体験入学

7月26日(木)・8月23日(木) 10:00~15:00
9月15日(土) 10:00~13:00

模擬講義や、実際の診療環境を再現した実習室にある患者型シミュレーターで歯を削ったりするなどの実習体験が充実しています。

また、新しい学費の制度などじっくりと相談ができる個別相談コーナーを設置しています。



TOPICS

名誉教授称号授与

本年3月定年退職を迎えた田口知弘氏（法学部法学科教授）に2012年4月1日付で「朝日大学名誉教授」の称号が授与された。

このたびの授与は、本学における教育・学術上の功績が高く評価されたものである。



朝日大学名誉教授
田口 知弘氏

「民法塾」を立ち上げ

法学部の植木哲教授を中心となり、将来、法律分野で身を立てようとする学生を対象とした「民法塾」が開設された。

同塾は、公務員試験や各種資格試験の合格を目指し日夜努力を続ける学生たちに民法學を中心に指導を行い、学生たちの将来の夢を叶えることをめざし開設された。

活発な意見交換

穂積キャンパス5号館ネットワーク実習室で行われた第1回目の勉強会では、学部生や大学院生ら15名が参加し真剣なまなざしで判例に向き合い、植木教授指導のもと、活発な意見交換や論議が展開され、充実した勉強会となった。

「民法塾（勉強会）」は、今後も月2回（第1・3水曜日 15:00から）開催される予定である。



第1回目の「民法塾（勉強会）」が開催された

摂食・嚥下に関する研修会がスタート

村上記念病院において「摂食・咀嚼・嚥下リハビリテーション講習会」が開催された。

講習会では、岐阜市民病院、山内ホスピタル、岐阜市歯科医師会の医師や歯科医師らが講師を務め、入院患者の症例報告、言語聴覚士の需要環境、摂食嚥下認定看護師の育成のあり方など積極的な討議や検証が行われた。会を主催する口腔外科学の村松泰徳教授は「歯学部の附属医療機関として、今後も月1回開催していく」と語った。

厚生補導研修会を開催

穂積キャンパス5号館講義室で経営学部教員らが参加した厚生補導研修会が開催された。

講師を務めた岐阜保護観察所の長尾和哉統括保護観察官は、「保護観察から見た少年非行の動向」と題し、少年非行の現状や非行少年の社会内処遇などについて解説。家庭、学校や地域社会が連携し、青少年を見守り育成していくことが大切であると語った。

参加した教職員は、多様なニーズを持った学生たちの学生生活をいかにサポートしていくべきかなどを熱心に学んだ。



地域社会の連携が大切と語る長尾氏

岐阜県弁護士会と連携

本学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との定例懇談会が開催され、2011年度の成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われた。

懇談会では、2011年度報告として、ジュニア・ロースクール、公開講座、司法修習生研修、朝日大学法送局、法教材コンクール等の実施状況が報告された。また、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくと共に、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力をはかっていくことを確認した。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結された。



岐阜県弁護士会との定例懇談会

法教育教材・作文コンクール

小・中学校や高等学校などで法教育を効果的に行うための教材や指導方法を競う「法教育教材コンクール」（主催：朝日大学、岐阜法教育研究会）の表彰式が、穂積キャンパス5号館講義室において行われた。

本コンクールは、これまであまり学校で教えられてこなかった法教育を広めようと、本学や岐阜県弁護士会が呼びかけ、毎年開催されている。

小・中・高校生が応募

今回、小学校から高等学校まで、教材や学習指導案など多数の応募があり、厳正な審査の結果、優秀な教材など8作品が岐阜県教育委員会賞や岐阜県弁護士会長賞などに選ばれた。各受賞者から教材や指導案の解説が行われると、約50名の出席者らは今後の法教育に役立てようと熱心にメモをとったりしていた。

また、今年からはじまった「法教育に関する作文コンクール」には、247件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品がそれぞれ賞を受賞した。受賞者インタビューでは、「今回の作文応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかったです」との声が聞かれた。

法制研究所特別講演会を開催

裁判員裁判制度の導入に伴い、穂積キャンパスに設置されている模擬法廷の改修を記念し、岐阜県地方検察庁、愛知・岐阜・三重の各県弁護士会が後援、法制研究所が主催する「特別講演会」が、穂積キャンパス6号館講義室で開催された。

刑法学の第一人者である大塚仁名古屋大学名誉教授を講師に招き、「私の刑法学」をテーマとした講演会には、法曹関係者、司法担当の報道関係者、大学関係者ら150名が参加した。



「人格的刑法学」を語る大塚氏

「人格的刑法学」を語る

大友克之学長、叔山錚吾法制研究所長の挨拶の後、大塚氏から、刑法という学問に取り組むこととなった経緯、また、刑法理論が確立した沿革や社会的背景などについて、自身の経験などにも触れながら「人格的刑法学」について熱く語られた。

学内研修会が開催される



出席者たちは熱心に講演に耳を傾けていた

大学院法学研究科が主催する「FD研修会」が、穂積キャンパス内会議室で開催された。

今回の研修会では、弁護士で本法人監事を務める永松榮司氏から「魅力ある法学研究科とするために～法学研究科に期待すること～」と題した講演が行われた。

活発な質疑応答

長年弁護士として破産管財人などを歴任し、会社や個人の破産や再建等の業務経験を有する講師からは、仕事が無く困窮する司法修習生の現状、高騰するキャリア資格の取得経費、希薄化する大学院法学研究科の存在意義などの問題について検証が行われた。研修会場では、今後、本学法学研究科のめざす方向性について、活発な質疑応答や意見交換がなされ、実りある研修会となつた。

SD研修会で「債券」について学ぶ

また、事務職員を対象とし、職能開発と資質向上をめざす「SD研修会」が開催された。みずほ証券(株)の金融市場調査部チーフストラテジストの柴崎健氏を講師に招き「債券の基礎」と題し、債券の基礎知識や債券投資のリスク・メリットなどを学んだ。

FD [faculty development] 教員の教育力を高めるための実践的手法

SD [staff development] 職員の意識改革、能力開発の実践的手法

「新歯科医師」数で全国第4位の合格者

「第105回歯科医師国家試験」の合格発表(3月19日)があつた。

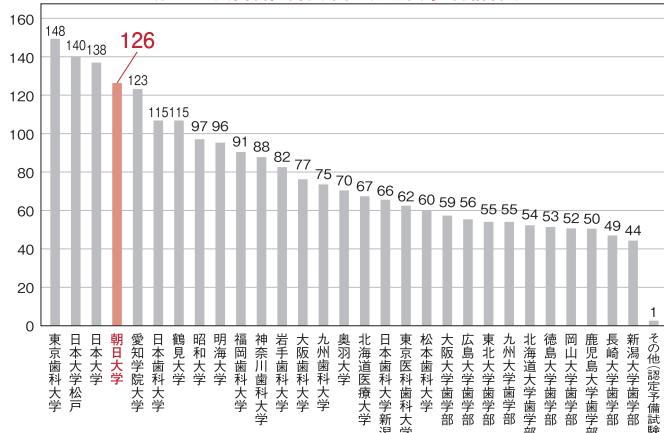
本学歯学部における新卒合格率79.1%(合格者数87名／110名受験)は、私立歯科大学17校中ではちょうど中間の9位に位置している。一方、既卒合格者も39名と健闘し、新卒と既卒とを合わせると126名の合格者数となり、この数は国公立も含め全国で第4位の「新歯科医師」を輩出したこととなる。

さらなる飛躍を目標に

今回の「歯科医師国家試験」も3,326名の受験者に対し2,364名が合格(全体平均合格率71.1%)という大変厳しい結果となった。多くの大学はこのことを予想し、卒業者数をしほってきていた。

来春の「第106回国家試験」ではさらなる飛躍を目標に、歯学部の教育はすでに始動している。

第105回歯科医師国家試験 全大学 合格者数



「フロンティアセミナー」開催

穂積キャンパス1号館講義室で、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行4支店が主催する「第22回フロンティアセミナー」が本学協賛のもと開催され、瑞穂市、岐阜市、本巣市などの市民ら約100名が歯科衛生士専門学校荒木美穂教諭の講演を聴いた。

本セミナーは、大垣共立銀行が進める地域活性化事業の一環として実施されている催事で、本学では同セミナーに対し「大学の知的財産」を地域社会の皆様に還元できればと、第1回目の開催から協賛している。

歯と全身の健康

今回のセミナーでは、荒木教諭から「歯周病予防で全身の健康を」と題し、はじめに歯周病の原因や歯周病とからだの病気の関係について解説がなされ、健康を守るには正しいブラッシングが大切であると語られた。受講者は身近なテーマである「歯と全身の健康」について真剣な面持ちで学んだ。



正しいブラッシングが健康を守ると
荒木教諭が解説

フロンティアセミナーは、今後も半年に一度本学を会場として開催される。

NEWS



栄えある「宮田賞」受賞

2011年度卒業式(穂積キャンパス10周年記念館大ホール)で、「宮田賞」の授与が行われた。

本学の創立者である学校法人朝日大学の前理事長宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名譽を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者(7名)には「表彰状」と「銀杯」が大友克之学長から贈呈された。受賞者たちの今後の活躍が大いに期待される。



羽ばたけ建学の精神を胸に

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学長告辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られた。式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳肅であった会場内がたちまちに温かい雰囲気に包まれた。

宮田賞受賞者

法学部法学科

高田 清

経営学部経営学科

協田真由

同学部情報管理学科

山田佳奈

同学部ビジネス企画学科

村瀬雄太、明珍裕子、福田美香子

歯学部歯学科

高木秀太

将来のリーダーを育成



本学恒例の行事である「リーダーズキャンプ」が羽島市のかんぱの宿で1泊2日の日程で開催され、学生教職員約50名が参加した。

リーダーズキャンプは、各種団体(学友会、体育会、大学祭実行委員会、学友会中央協議会)の学生代表が集い毎年宿泊形式で行われており、リーダーシップの育成、クラブ・同好会活動の活性化、参加者相互の親睦を深めることを目的としている。

両日共に分割みのタイムスケジュールの中で、他己紹介、グループ討議、フリーディスカッション等のセッションを次々とこなした学生たちは、短期間の間に将来のリーダーとしての素養を身につけた様子であった。

心肺蘇生法を学ぶ

また、岐阜市消防本部の協力を得て「救命救急講習会」も開催された。参加者たちは応急手当の基礎知識、AEDを利用した心肺蘇生法などを熱心に学んだ。

参加学生たちのキャンパス内の活動が期待される。



2012年度における 「東日本大震災」で被災した入学生・在学生への支援対応について

朝日大学では、2011年度に引き続き、東日本大震災により居住地が災害救助法の適用を受ける市町村からの入学生・在学生(科目等履修生、研究生、特別聴講学生を除く)の皆さまに対し、次のとおり就学支援を目的とする特別措置を講ずることとします。

なお、適用を受ける場合には、原則として、公的機関が発行する「被災状況についての証明書」等の書類を提出いただくこととなります。

対象者

- 東日本大震災による災害救助法適用地域において学費支弁者が罹災した2012年度入学生・在学生(科目等履修生、研究生、特別聴講学生を除く)
- 罹災対象等:家屋の全壊、半壊、一部損壊又は学費支弁者が死亡若しくは行方不明

支援内容

入学生

- 学生納付金等の減免

2012年度の入学金、前学期及び後学期授業料、施設維持費並びに歯学教育充実費の全額免除。

- 居住環境等の提供支援

入学生的家族に対し被災状況により居住環境等の提供支援が必要となる場合には、当分の期間について、住居(大学が物件を臨時に借り上げ)を無償貸与するなどの便宜をはかることとします。

- その他

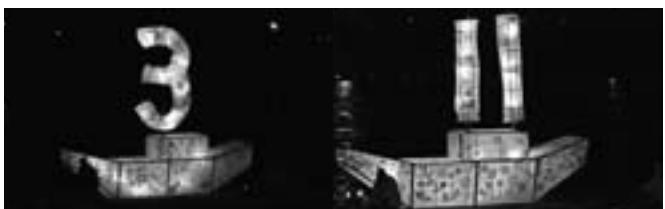
被災の状況により上記以外の特別な支援が必要と思われる場合には、その都度柔軟に対応を検討いたします。

在学生

- 2012年度の前学期及び後学期の授業料及び施設維持費の全額を免除。

問い合わせ先／朝日大学 総務部経理課 TEL 058-329-1026・1027
FAX 058-329-1029

「3.11こよみのよぶね」に 学生が参加



長良川河畔で開かれた「3.11こよみのよぶね」

岐阜県が主催する東日本大震災復興支援事業の追悼行事が、3月11日(日)に岐阜市内の長良川河畔で開かれた。

「3」と「11」をかたどった行灯を船に乗せ、川に流す「3.11こよみのよぶね」が夜の川面に浮かび上がり、参加者たちは震災犠牲者の冥福を祈った。

追悼行事には、震災復興ボランティアとして参加経験のある学生ボランティア団体「めぐる」のメンバー、体育会ホッケー部学生ら40名が参加し、参加者の交通整理や準備・片づけなどのボランティア活動に積極的に取り組んだ。

強化指定チーム決定!!

本学体育会の8競技団体が「2012年度強化指定クラブ」として岐阜県体育協会から認定された。

2005年度から始まった強化指定制度は、県体育協会が行う「国体特別支援事業」の一環で、今秋岐阜県で開催される国民体育大会に向けた選手強化を目指すと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、指定選手やクラブチームが競技に専念できる活動支援などを行うことを目的としている。

競技力の向上

本学体育会から選ばれた各クラブは、岐阜県庁大会議室において行われた認証式で「競技力向上強化指定証」の交付を受けた。今秋の「ぎふ清流国体」に向け、「天皇杯」獲得に向けた各クラブの競技力向上が期待される。

強化指定クラブ名	対象
自転車競技部 (ハイテクニカレーシング)	成年男子
相撲部	成年男子
卓球部	成年男子・女子
フェンシング部	成年男子・女子
ハンドボール部	成年男子
ボウリングチーム	成年男子・女子
朝日大学テニスクラブ	成年男子
岐阜朝日クラブ (社会人ホッケーチーム)	成年男子

体育会総会開催

穂積キャンパス6号館大講義室で、学生や指導者ら650名が集い体育会総会が開催された。

大友克之学長(前会長)により2002年に10種目でスタート(設立)した体育会は、10年が経過し、毎年国内外でめざましい活躍を遂げている。今年度からは、新たに会計研究部が加わり13の競技種目(別に4種目の強化指定あり)へと成長することとなった。

全国に朝日大学の名を

総会で山本英弘会長は、「体育会のモットーである文武両道を旨とし、今秋に控えたぎふ清流国体に向け、新たに加わった会計研究部を含め、これまでの輝かしい伝統を引き継ぐと共に発展させ、全国に朝日大学体育会の名を広めて行こう」と熱く語った。



体育会総会で挨拶する山本英弘会長

剣道 東海を制覇

第50回東海私立大学剣道選手権

優勝：3年女子の部、2年女子の部 準優勝：3年女子の部、1年男子の部
3位入賞：2年男子の部

ボウリング「全日本」を制す

「文部科学大臣杯争奪第50回全日本選手権(稲沢グランドボウル:愛知)」、「第43回全日本大学個人ボウリング選手権(田町ハイレーン:東京)」において、本学体育会ボウリングチームの選手たちが優秀な成績を収めた。

アジアユースで準優勝

また、「第16回アジアユースボウリング選手権(エジプト)」に出場した安里秀策選手(ビジネス企画3年:沖縄)は、4人チーム戦とダブルス戦で、国際大会での堂々の準優勝と4位入賞を果たした。

地元瑞穂市内の岐阜グランドボウルで今秋開催される「ぎふ清流国体」に弾みがついたボウリングチームの今後のさらなる躍進が楽しみである。

全日本選手権

■男子ダブルス 優勝 安里秀策選手(ビジネス企画3年:沖縄)・高橋俊彦選手(コーチ:昭和コンクリート工業)
■女子ダブルス 3位入賞 竹川ひかる選手(ビジネス企画3年:岡山)・濱元美貴恵選手(ビジネス企画2年:沖縄)
■女子トリオ 3位入賞 竹川ひかる選手・濱元美貴恵選手・岐阜県選抜メンバーとして出場
■男子団体総合 準優勝 安里秀策選手・高橋俊彦選手 岐阜県選抜メンバーとして出場
■女子団体総合 3位入賞 竹川ひかる選手・濱元美貴恵選手・岐阜県選抜メンバーとして出場
■男子マスターズ 準優勝 高橋俊彦選手
■女子マスターズ 3位入賞 竹川ひかる選手

全日本大学個人選手権

■男子／安里秀策選手：準優勝、山川尚晴選手(ビジネス企画3年:岐阜)：6位入賞 梶田朋寛選手(ビジネス企画3年:岐阜)：8位入賞
■女子／濱元美貴恵選手：4位入賞、竹川ひかる選手：6位入賞

テニス

「全日本室内選手権」連覇

体育会硬式庭球部コーチの秋田史帆選手が、京都市体育館で開催された「第48回島津全日本室内テニス選手権大会」で女子シングルスにおいてみごと2連覇を達成。

今大会、秋田選手は体の故障を抱えながらも、決勝ではストレート勝ちと圧倒的な強さで優勝。女子ダブルスでも準優勝を収める大健闘をみせた。学生の目標として、今後のさらなる活躍が期待される。



全力でプレーする秋田選手

オリンピック 出場決定

フェンシングで
ロンドン五輪へ

■ 体育会創立10年で
世界の頂点で戦う選手を輩出

本学卒業生でフェンシング部第1期生の中山セイラ選手が、今年開催されるロンドンオリンピックのフェンシング競技女子サーブル個人に出場することが決まりました。

中山選手は、本学経営学部在学中にインカレ個人2連覇やワールドカップ個人で準優勝するなど数々の功績を収め、卒業後は大垣共立銀行に入行し、競技を続けています。近年では全日本選手権で2連覇中で、2011年の世界選手権ではベスト16に入るなどめざましい活躍をされており、この度、世界ランキングによりオリンピックの出場権を獲得しました。

朝日大学体育会が発足して10年という節目の年に本学から初のオリンピック選手が誕生し、大学としても大変誇りに感じています。

本年8月1日に行われる女子サーブル個人戦で、日本人離れした長身やスピードを生かし、世界のトップ選手が集結するロンドンの大舞台でメダル獲得に向け活躍されることを期待しています。

経営学部2006年卒業

体育会フェンシング部OG

中山 セイラさん

(大垣共立銀行勤務)

女子サーブル日本代表。朝日大学フェンシング部第1期生。在学中、インカレ個人2連覇、ユーバーシアード団体銀メダルを獲得、岐阜県民栄誉賞にも輝く。2008中国グランプリ国際大会3位、2010広州アジア大会代表、2011世界選手権でベスト16に進出。現在、大垣共立銀行フェンシング部に所属。

